

# 引原ダム再生通信

豪雨の時代に備え  
地域を守る!

【共同発行元】兵庫県西播磨県民局 光都土木事務所 ダム管理課

【問合せ先】〒678-1205 兵庫県赤穂郡上郡町光都2-25

電話:0791-58-2248(ダム管理課) FAX:0791-58-1230(ダム管理課)

## 引原ダム再生事業

### News: 「ダム再生通信」の創刊決定

—ダムが新しく生まれ変わるプロセスをお届けします—



引原ダムは、昭和33年に完成した重力式コンクリートダムです。

#### 「ダム再生通信」について

引原ダムの再整備が本格的に始まります。私たちは、この事業の進捗や舞台裏、現場の工夫などを「ダム再生通信」として毎月お届けします。

地域の方々や関係者の方々と、引原ダム再生のストーリーを共有していくお楽しみに！

地域の安全を守るが、私たちの仕事です。



#### ダム再生の豆知識

今回の再整備では、ダムの本体(堤体)の約2m嵩上げや放流設備の改良・新設を実施します。これは、より多くの水をためられるようにすることで、洪水時の安全性を高め、渇水時にも安定して水を供給するためのものです。

## 工事の工程

※現場の状況により工期延伸する可能性があります。

区分	年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
準備工		■						
ヤード造成			■					
仮設備				■	■			
減勢工・導流壁・河川取付部				■	■			
コンジット放流設備				■	■			
クレストゲート					■			
堤体嵩上げ						■	■	
管理設備等						■	■	

治水容量を拡大し、暮らしの安全度を格段に向上！

## 引原ダムの再生計画について

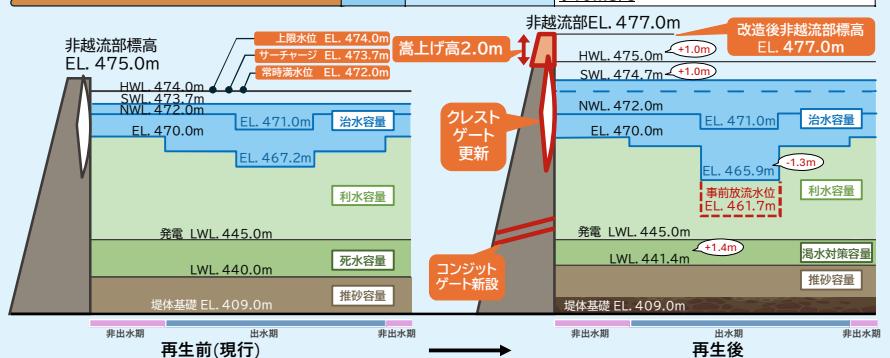
引原ダム再生事業では、老朽化した設備の更新に加え、近年の豪雨の頻発・激甚化を踏まえた引原ダムの洪水調節機能(洪水調節容量の拡大や(予備)放流能力の拡充)の強化に取り組んでいます。

ダムを再生することで、治水安全度のさらなる向上を図り、揖保川流域の浸水被害の低減が可能となります。

また、これらの整備により、放流能力不足など、現行の基準に準拠したダムになります。



区分	項目	ダム再生後(案)
ダム	目的	(洪水調節機能強化)
	天端標高	標高 477.0m(+2.0m)
	堤高	68.0m(+2.0m)
	設計洪水位 [HWL.]	標高 475.0m(+1.0m)
	サーチャージ水位 [SWL.]	標高 474.7m(+1.0m)
	予備放流水位	[7/1~9/30] 標高 465.9m(-1.3m)
	事前放流水位	[7/1~9/30] 標高 462.5m(-1.5m)
	計画堆砂位	標高 441.4m(+1.4m)
	計画堆砂量	2,000 千m <sup>3</sup> (ダム再生後100年分) (現在までの堆砂量1,130千m <sup>3</sup> は含まない)
	洪水調節容量	<洪水期> 7,380 千m <sup>3</sup> (+1,730 千m <sup>3</sup> )
渇水対策容量	1,000 千m <sup>3</sup> (+1,000 千m <sup>3</sup> )	
放流設備	クレストゲート	【ラジアル】幅7.0m×高さ11.445m×2門(更新)
	コンジットゲート	幅2.30m×高さ2.30m×1条
	ダム設計洪水流量	910m <sup>3</sup> /s



揖保川流域の水害リスクを大幅軽減

#### 引原ダム再生事業の主要工事計画概要

主要工事	概略諸元	備考
堤体嵩上げ	2 m嵩上げ	
放流設備新設	放流管(Φ3,400 mm)、引張ラジアルゲート(幅2.30 m×高さ2.30 m×1門)	放流能力100 m/s
減勢工改造	幅2.55 m×延長98 m	
クレストゲート更新	幅7.0 m×2門	
管理設備更新	管理所移設、管理設備更新	
国道29号付替	国道(左岸300 m)、管理道(右岸100 m)	

#### 再生事業完了後

